

里ちゃんだより

里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212



日頃から本町の教育振興のために、種々のお力添えをいただき厚くお礼申し上げます。また、学期中は登下校に合わせた見守りや声かけ、あいさつなど各地域において様々な形で子どもたちの安全の確保に向けて、ご支援・ご協力をいただきましてありがとうございます。今、学校・園は、3学期の大事な時期を迎え、子どもたちは落ち着いた学習環境の中で、進級・進学に備え、日々勉強に頑張っています。

本町では、第3次里庄町振興計画において、教育の充実を重点施策と捉え、学校・家庭・地域など社会全体の教育連携の中で、学校で勉強しつつ、町の各種事業の推進に各家庭や地域社会において親子の触れ合い、友達との遊び、地域の人々との交流など、様々な活動を通じてたくましい子どもの育成を図りたいと考えています。

毎年10月には、町民皆様の教育に対する理解と関心を深め、教育の気運が高まるよう、「里庄町教育を考えるつどい」を開催しています。平成27年度は、岡山大学大学院教育学研究科准教授、横松友義先生を講師にお招きして、「今、子育てにおいて大切にしたいこと」と題して、子どものよりよい成長のために、専門的な視野から貴重なお話をいただきました。これからも、子どもたちの元気な声と笑顔が見られるよう、地域皆様のご支援・ご協力をいただき、学校・家庭・地域との連携を深めていながら、地域一帯となって子どもたちを見守っていきたく思いますので、どうぞよろしく願いいたします。(文責：事務局長 妹尾 素典)

平成28年里庄町成人式 ～おめでとうございます～

里庄町では、これからの里庄町を担う新成人が晴れて成人の日を迎えられたことを祝い、また、成人としての責任や義務を自覚する機会となるよう、毎年成人式を実施しています。今年は1月10日(日)に実施し、82名の新成人が参加しました。

式典では、新成人代表者が「今後の人生において、悩んだときには、自分の心と真剣に向き合い、大人としての責任を持ち、世に名を残された里庄町出身の先人たちに一步でも近づき、最善の道を進むよう努力いたします。」と力強く決意を述べました。

式典終了後に行われた交歓会では、友人や恩師との再会を喜び、思い出話に花を咲かせていました。

これからの皆さんの活躍を心より期待しています。

(文責：田中 薫)



成人式の様子

体験活動について

里庄町教育委員会では、社会教育事業の一つとして、子どもたちを対象とした暁天座禅や冒険キャンプ、もちつき体験などの体験活動に取り組んでいます。子どもたちは、体験活動を通して、地域の方々と交流しながら様々な経験を積み、社会を生き抜く力を培っています。

暁天座禅では、早朝から静寂の中、精神統一をして集中力を磨いています。冒険キャンプでは、自然の中で子どもたちが力を合わせてテント設営や炊事をし、協調性を高めるとともに、目的意識の向上に繋がっています。こういった体験活動は、地域の方々の協力のもと行っています。

今後とも町民の皆様方のご理解とご協力を得ながら、地域全体で教育に取り組む体制作りを目指していきます。(文責：上田 大基)



暁天座禅



冒険キャンプ

～スマートフォン・ゲームの夜間使用制限について(お願い)～

近年、スマートフォン・ゲームの所持率が高まり、長時間の利用によって、学習に支障をきたしたり、健康に影響が出たりする状況があります。また、ネット上のいじめや犯罪被害につながるケースも増えており、大きな社会問題になっています。使い方を間違えると、ときには命に危険が及ぶような、大変なことに巻き込まれる危険性もあることを、学校や家庭で、大人が子どもに教えていくことが大切になります。そのため、町や学校でスマートフォン等と上手につきあうための、様々な安全教室を実施しております。

そういった中で、里庄町教育委員会では、町、学校、PTAと連携して、子どもがネット上のいじめや犯罪に巻き込まれないようにするため、また、よりよい生活習慣を構築することを目的に、岡山県教育委員会の取り組みに添って、平成27年2月1日より、町全体でスマートフォンやゲームの使用について、ルールづくりを推進しています。

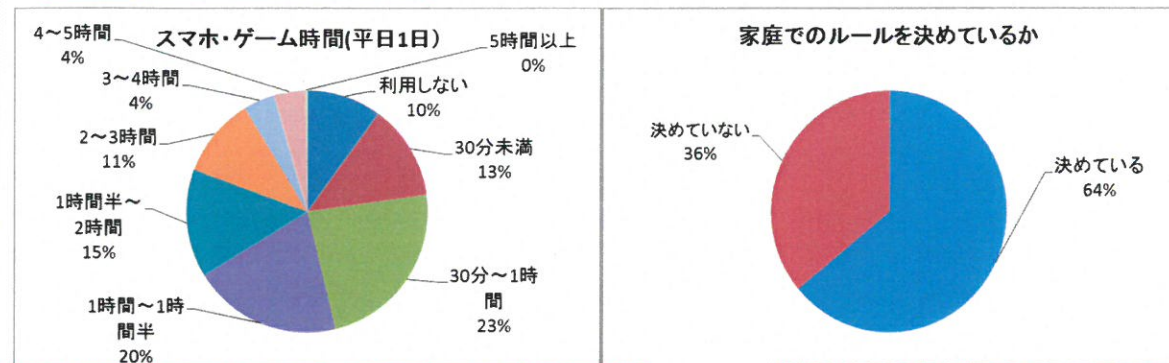
里庄町の統一ルールとしては、「使うのであれば午後9時までの使用とする。家庭の事情により、家庭内のルールが弾力的になる場合も考えられるが、友達等には、午後9時以降はメールやラインを送らないようにする。」としています。裏面には、本年度里庄町で実施したスマートフォン・ゲームの使い方についての実態調査の結果の一部を載せています。

子どもたちが安全で、安心して毎日の暮らしができますように、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。(教育長：杉本 秀樹)

里庄町の子ども様子（スマートフォン・ゲームの実態調査より）

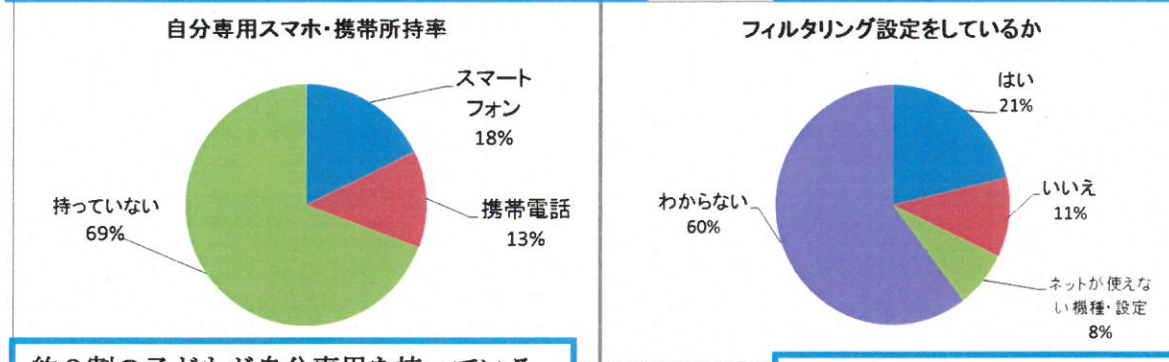
里庄町では、平成27年度に2回、町内小学校4年生から中学校3年生までの全児童、生徒にスマートフォン・ゲームの使い方について実態調査を行いました。平成28年1月の結果の中から、いくつかを紹介します。安全な使い方についてよろしくお願いたします。（文責：柚木 康男）

小学校（4年生～6年生）



1日2時間以上利用している子どもが約2割

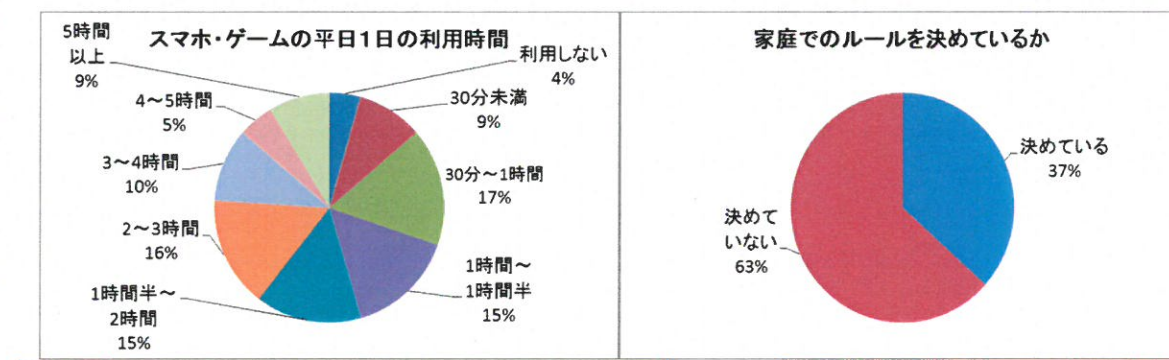
ルールを決めているが約6割



約3割の子どもが自分専用を持っている

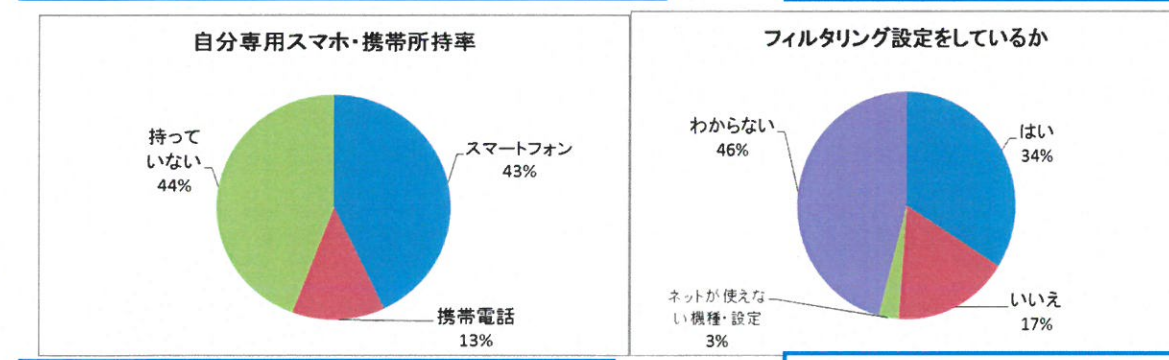
フィルタリング設定をしているが約2割

中学校（1年生～3年生）



1日2時間以上利用している子どもが約4割

ルールを決めているが約4割弱



約6割弱の子どもが自分専用を持っている

フィルタリング設定をしているが約3割強

「学校教育施設・社会教育施設」を長く使っていくために

教育委員会の管理する施設は、学校、幼稚園、文化施設、スポーツ施設、地域のコミュニティ広場施設など、様々な用途の施設があります。学校教育施設は、幼児・児童・生徒の活動の場であるとともに、災害時には地域住民の避難場所としての役割も果たすことから、安全で快適な環境を維持することがとても重要です。文化・スポーツや地域コミュニティ広場などの各施設は、文化スポーツの振興の場として、また、地域住民が身近で利用できる活動の場として、多くの方々に気持ちよく利用していただきたいと考えています。

教育委員会では、老朽化が進む施設を中長期にわたり、安全で快適な環境を保ち続けるために、計画的に点検・補修・改修など適時適切な維持管理を行い、既存施設の機能維持及び環境維持に努めています。

未来ある子どもたちや、地域の皆様が安心して学び、憩えることができる環境づくりを創意工夫しながら進めていきます。（文責：淡路 尚久）



東小：音楽教室照明改修



コミュニティ公園景観整備



西小：体育館窓サッシ改修

生涯スポーツで活力に満ちた「まちづくり」

生涯スポーツは、子どもから高齢の方まで誰でも気軽に参加できるものであり、町としても生涯スポーツの普及・振興を図っています。本年度は、7月に「ソフトバレーボール交流会」を、11月に「グラウンドゴルフ交流大会」を開催し、多くの方が家族や地域の方の声援を背に、好プレーあり、珍プレーありで一生懸命汗を流し、他チームの方々との交流を図りました。

どちらのスポーツも、未経験の方でも気軽に楽しめるものとして、近年人気が高まっています。今回の大会を契機として、新たにチームを作って練習を始めた方もおられ、競技人口の増加とともに、新たな交流の手段としても一つのきっかけづくりができたものと思います。

活力ある「まち」は活力ある「ひと」が作り出します。スポーツを気軽に楽しみ、町民の皆様が健康で活力に満ちた生活を送ることができるよう、これからも取り組んでいきたいと考えています。（文責：山本 直樹）



グラウンドゴルフ交流大会



ソフトバレーボール交流会